

### 平成26年度総会・支部研修担当者研修会

平成26年6月13日(金)、福岡市「都久志会館」において、代議員(支部研修担当者)113名が出席し、平成26年度福事研総会及び支部研修担当者研修会を開催いたしました。

#### 鬼塚会長挨拶

福事研も発足から15年目を迎えることになりました。学校事務を取り巻く状況が大きく変わってくる中で、福事研の研究大会の持ち方、あるいは運営方法の改善を進めて参りました。平成22年度より分科会形式による研究大会を開催するようになりました。そして、県外からの参加者も増えてきており好評をいただいているところです。ただ、分科会発表のレポートの自発的な応募が少ないため、企画を行う研究特別委員は毎年苦慮しております。是非各支部からの積極的なレポートの応募をお願いいたします。



それから、本日の総会議案もそうですが、「研究のまとめ」、会報「福事研」等もホームページからのダウンロード、という方法をとらせていただくようになりました。しかし、昨年度末よりしばらくの間ホームページが消えてしまっただけで会員の皆様にご迷惑をお掛けしました事をお詫び申し上げます。このたびやっとリニューアルすることが出来ました。今後も運用面での改良を進めながら内容の充実を図っていきたくと考えております。

また、平成24年度より「福岡県学校事務の長期ビジョン検討委員会」を立ち上げ、新しい時代の学校事務のあり方について協議を重ねているところですが、昨年度は年度末の大変忙しい時期に全県の共同実施の代表

者の方にアンケートをお願いいたしました。そして多くの代表者の方々に回答をいただきましたことに感謝を申し上げます。アンケートの結果は今後の提言に生かしていきたいと考えております。

最後に、来年度はいよいよ全事研熊本大会が開催されます。福事研も、分科会での発表を行います。実は現段階でもまだ福事研との共同研究に参画していただける支部あるいはグループが決まっていない状況です。今後福事研から声がかかりましたならば、是非ご協力の程をお願いいたします。

### 平成26年度福事研総会

中間市・遠賀郡支部の林聡子さん、小郡市・三井郡支部の白山秀隆さんを議長に選出し、議長挨拶、資格確認の後、平成



25年度事業報告・会計決算報告・監査報告、平成25年度役員に関する件、(承認後新役員の紹介)・事業計画・会計予算を審議し、いずれも原案どおり拍手で承認されました。総会資料はホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

総会終了後、退任役員(鬼塚さん、三小田さん、諸隈さん、田代さん、木村さん)を代表して、鬼塚前会長から挨拶をいただきました。(別途退任、着任挨拶を掲載)五名の皆さま大変お疲れ様でした。深く感謝申し上げます。

(日本教育公務員弘済会福岡支部 常任幹事の亀岡様にご臨席をいただきました。)

## 支部研修担当者研修会

『消費者が知っておくべき法律とお金の話

～学生から大人まで～』

福岡県司法書士会 法教育推進委員会

委員長 金源 成大氏

### I. 司法書士とは

- ・司法書士の仕事として、家や土地の登記、会社の登記（社長名、所在地、株の発行数等を登録）、借金の自己破産の手続、皆さんがご存じでない内容として、後見人（財産等の管理を行う）の仕事の説明があるとのことでした。



### II. 契約とは

#### ① 「約束する」こと

契約も約束の一種です。

契約を破る→契約を実行させるために、裁判所が判決をもって強制執行を行わせます。

申し込み + 承諾 = 契約（約束）

#### ② 契約の方式は自由

- ・口約束でも契約は成立します。
- ・契約書は「契約内容を正確に残すため」に作ります。
- ・契約書には印鑑がなくても無効になりません。（印鑑があると裁判のなかでお互いが確認していると推定します）

#### ③ 契約を結ぶことは個人の自由

※気が変わってからといって解約は出来ません。

#### ④ 原則として、契約は守らなければなりません。

- ・必要ない、支払いが出来ない契約はしません。

### III クレジット

#### ① クレジットカードにおける物品購入の仕組み

- ・カードで購入すると、信販会社が購入したお店（加盟店）へ代金を一括支払いし、消費者へ信販会社から代金・金利・手数料を請求します。

#### ② クレジットカードの使用について

- ・手元に現金がなくても商品やサービスが手に入

るため、つい買い過ぎてしまいます。

- ・友達に貸すとあなたが支払いをしなければなりません。（法的責任が、あなた自身にある）

### IV. キャッシング

- ・キャッシングをしてみるとまるで「自分の預貯金をおろしている」かのような感覚をします。（実は借金をしているだけ）

### V. 連帯責任

#### ① 連帯保証人とは

- ・お金を借りたり、アパートを借りたりするときに、借り主が借金や家賃を支払えなくなったときに、借り主に代わってその支払いをしなければならない人のことです。

#### ② 連帯保証人の注意点

- ・連帯保証人になることは、自分でお金を借りるのと同じと考えてください。他人に連帯保証人になるように頼んだりしないこと。

### VI. 悪徳商法の事例

#### ① キャッチセールス

- ・アンケートは無視しましょう。個人情報を書き込まないこと。

#### デート商法

- ・優しい言葉は、買わせるための手段です。

#### ② ネットワークビジネス（別名 マルチ商法）

- ・楽しくて儲かる仕事はありません。

#### ③ 悪徳なサイト（架空請求）

- ・怪しげなサイトにはアクセスをしない。不当な請求に対して支払わず、専門家に相談をしましょう。

#### ④ インターネットショッピング

- ・利便性があるが、リスクが高く、個人情報の流出する可能性があります。



### VII クーリングオフ

- ・一般的に、一度結んだ契約は取り消せません。例外的に消費者が不意打ち的な取引がなされた場合に、一定の期間に限り契約解除できます。

(クーリングオフが適用できない時がある)

## Ⅷ シミュレーション

- ・悪徳商法やキャッシング、ローンを使っているとあつという間に借金だらけになります。

(入社2年目で車の購入時におけるシミュレーションを使った借金の増加の例で説明)

- ・ヤミ金融(金融庁に登録していない業者)所在がみえなく無茶苦茶な取り立てをします。それが、ホームレスの増加、自殺者(年間8,000人)を生みます。
- ・自信がない方は、しっかり家計簿を付けることです。また、カードを使用しないことです。

○消費者問題の話のほかに、小学校で決まりとルールって何だろうといった「法ルール」の授業を行っています。

○もし学校でこのような授業をしてほしい場合は、司法書士が無料で出前授業を行っています。要望があれば福岡県司法書士会事務局まで電話をかけてください。

最後に、この話をきいた子どもたちが、自分たちで強く楽しく消費社会を生き抜いてくれればいいなあと、大人の皆さんは、皆さん自身の身を守りながら子どもを見守り相談を受けたら適切な解決策を示してあげてください。



---

## 新旧会長挨拶

---

### 鬼塚会長退任挨拶

このたび福事研の会長を退任することになりました鬼塚です。今年度は退任者が多ございますので代表して挨拶をさせていただきます。



ただいま司会の方よりご紹介いただきました16名がこの大会をもちまして退任いたします。任期はそれぞれ1年ないし4年間務めさせていただきました。時期的には、全事研福岡大会の後になります。この4年間で、研

究会の持ち方や、運営方法等の改善を進めて参りましたが、まだ改善すべき課題も残っております。しかし、今後は、川原新会長の下新たな役員体制で益々充実した研究会に発展していくことを確信しております。年齢的にも少し若返りまして次の世代につながっていることを心強く感じております。ただ一つ気がかりな事は、相変わらず福事研の役員に女性の参画が少ないということです。これは全国的に見ても非常にまれな現象です。今後は各支部で役員候補を検討されるときには、是非女性の参画を念頭に置かれることを期待しております。

私たちが退任後は、それぞれの支部や地区で福事研の活動に関わっていくこととなりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりますが、私たちが無事任期を務めることが出来たのも、各支部の代表者の方をはじめ、会員の皆様のご協力のおかげだと思っております。改めてお礼を申し上げます。「どうもありがとうございました。」

### 川原新会長就任挨拶

このたび、福事研の会長に就任させていただきました。福事研も発足して15年目、新役員一同、これまでの実績を引き継ぎつつ、研究会の運営に努めて参ります。



本年度も分科会形式による研究大会を、12月12日に開催する予定です。研究特別委員会を中心に企画を練っているところですが、会員の要望に応じて内容の充実を図りたいと考えており、会員の皆さまのご支援・ご協力をお願いします。

さて、福事研では、今後の学校事務のあり方を研究するため、2年前に「長期ビジョン検討委員会」を設置して検討をすすめています。昨年「政令市教職員の給与負担移譲問題」が具体的に動き出しました。また、このことに限らず他県では、「学校事務のセンター化」や「採用区分の変更」など、今後の学校事務職員制度に大きく影響すると考えられる問題が起こっています。こういった動向を注視しながら、ここ数年で急速に進む事務



職員の世代交代もふまえ、長期ビジョンの検討を行っていきます。

いつの時代も課題は尽きないものです。とりまく状況に対応しながら、「子どもの豊かな育ちを支援する」学校事務をテーマに研究活動をすすめていきたいと思いません。

最後になりましたが、本研究会に対してご後援をいただいております福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、北九州市教育委員会をはじめ、教育関係諸団体の皆様に心からお礼を申し上げますとともに、今後とも一層のご支援とご助言を賜りますようお願い申し上げます。

## 第46回全事研静岡大会参加報告

8月6日(水)～8日(金)

の3日間、静岡県静岡市において第46回全事研大会が開催されました。「つなげよう！一子ども・学校・地域、そして仲間と私」を大会テーマに、初日は静岡市清水文化会館「マリナート」において、文科省初等中等教育局視学官酒井貢氏による行政説明と全体研究会、2日目は7つの会場に分かれてそれぞれの分科会、3日目は、まとめの会と元日本代表コーチ 山本昌邦氏による記念講演がおこなわれました。

大会速報によると、全国から2,332名、福岡県からは50名の参加とのことでした。

### 静岡大会に参加して

久留米市立北野中学校 主事 八尋崇之

今回初めて全事研に参加させて頂きました。参加希望の理由は2つあり、1つめは、事務職員生活3年目において、全国の様々な取り組みに直に触れ、仕事に対する考え方を一から見直す機会にしたいと思ったからです。2つめは、自分が携わっている久留米市の研修班の研究テーマ「研修の体系化」において、「人材育成」の話聞くことで新たな発見ができると考えたからです。

まず、初日は、文部科学省行政説明と、全体研究会がありました。特に、全体研究会の中では、4名のパネリストによるパネルディスカッションが行われ、4名の方の様々な考えを聞くことが出来て、とても面白かつ参考になりました。



パネルディスカッションの中で特に印象深かった内容は2つあり、1つは「地域と共にある学校づくりを進めない」と、

これからの学校は成り立たない」という事です。学校の抱える様々な問題解決には不可欠だと思いますし、また、そのために全教職員が地域と協働して行くことになるのだらうと思います。事務職員としては、今できることから始めることで、自分の力を高めつつ、学校の課題解決に少しでも役立つのだらうと思います。

2つめは、「60歳の時に、事務職員としてどのような人材であらねばならないか」という事です。今までは、年数を重ねて様々な力をつけていく事が大事だと考えていました。しかし、60歳の姿を想定することで、現在の自分に足りない物、またそれを各世代でどのような研修を通じて補っていくのか、という別の角度で「研修の体系化」について考えることができると思います。

2日目は、各会場で分科会が行われ、私は第3分科会(愛知支部)に参加しました。発表の中身である、「学校事務のグランドデザイン」や「研修体系案」にも驚きましたが、発表のやり方にも様々な工夫がありました。若手とベテランの対話形式や、BGMを流す等、きつと長い時間かけて作っていったものだらうと、創造性と綿密さに感心しました。

3日目は、研究報告と記念講演がありました。記念講演の中で印象的だったのは、「どんなに技術や知識、体力があっても、精神力が一流でないだめだ」ということです。確かに、自分に置き換えても、どんなに仕事が難しくても、やる気があ



れば粘り強く行える一方で、どんなに慣れている作業でも、やる気が無ければミスが出がちです。また、一流の指導者は、そのような精神面の重要性をとてよく分かっているのだと思いました。「育成と勝利に近道はない」という言葉はとて重みを感じました。

今回、全事研に参加したことで、全国の事務職員から様々な刺激を受け、自分も今から更に頑張らないといけない、と改めて感じました。現在学校で直面する課題は、決して簡単なものばかりではありませんが、今回の研修を機会に、まず自分のできることから着実に克服できればと思います。来年もぜひ参加させて頂き、今年より更に多くのものを吸収していきたいです。

### 全事研大会に参加して(報告書より)

今回の全国大会への参加に際し、全国から集まった事務職員の研究発表を聞くことができ、他県での活動報告など、普段関わることがない取り組みに触れ、非常に貴重な経験となった。今大会で学んだことを、所属校や共同実施に持ち帰り、既存のものとの新しいものを併せて、よりよい方向へ活かしていきたいと考える。

子どもの豊かな育ちを実現する学校事務職員に求められるものとは、「子どもの姿を見つめて仕事を行う」「マネジメント力の向上に努める」「自己啓発を行う」といった積極的に学校運営をサポートしようとする姿勢をもち、継続的に校務支援体制を構築していくことではないかと多くの場面で感じた。

まずは、身近な文書管理等の業務から取り組み、担当している事務処理についての理解をより一層深め、全体的な能力アップにつなげていきたいと考える。

(6分科会参加)

初めての全事研大会の参加で、普段は関わることのできない他県での取り組みなどを知ることができ、とても刺激を受けた。もちろん実務は正確に行い、学校マネジメントにも参加できるように、今回学んだことを生かし信頼される事務職員になりたい。

(3分科会参加)

大会テーマにもあった人材育成について、深く考えさせられる大会となりました。まずは自校で今後一緒に働く新規採用教員、新任教務主任、新任教頭、新任校長や経験の浅い各職種の人材育成について考えたいと思います。また学校事務職員についてはキャリアを考慮した研修の在り方等を地域の事務職員研究会で考えたいと思います。今まで全国大会に参加しても大会参加の成果をなかなか自校や地域に持ち帰り、実践に結びつけられずにいましたが、今回の大会の人材育成という素晴らしいキーワードを得ることができました。

(6分科会参加)

地域との連携は全国的な課題であるということ、今回の発表を聞いて改めて認識した。それを踏まえて、事務職員が主体的に関わっていく上での方策や、必要なスキルを身に付ける手立てについて具体性のある話を聞くことができ、大変有意義であった。自分が現在携わっている、福事研の学校事務長期ビジョンの作成についても、参考になる内容であった。

(3分科会参加)

サッカー日本代表監督等を歴任し、多くの一流選手を育てた経験を持つ氏による、人材育成のポイントや、自分自身を成長させる方法についての、大変示唆に富んだ講話でした。負けず嫌い、高い目標を持つ、自分で気付く、といった一流選手が持つ特徴の話や、成長したければ難しい仕事を選びなさい、といった話は、我が身を振り返るとても身の引き締まる思いがしました。また、どの板が1枚外れても水が漏れてしまい役に立たないという「樽の論理」の話などは、学校というチームで仕事をして行く上で、重要でありながら忘れがちなことを再認識させられる良い教訓となりました。

(記念講演)

## 福岡県学校事務の長期ビジョン検討委員会

平成26年8月29日(金)に、今年度第3回目の検討委員会を開催し、長期ビジョン検討のための3つの作業部会から以下のとおり提案がありました。

### ○職務のあり方・内容等検討作業部会

目指すべき学校事務職員像を明確にし、役割としての事務マネジメントを構成し、機能的な事務職員の構成組織に基づく研修の体系作りと行動指標について考える。

### ○職務遂行形態等検討作業部会

昨年度末に行ったアンケートを分析し福岡県学校事務職員の長期ビジョン策定の基本的な考え方について提案する。

### ○関係機関・団体等との連携検討作業部会

アンケート調査の結果から浮かび上がった課題「地教委・校長会との連携不足」のみならず保護者・地域まで対象を拡大し、連携推進策を掲げることにより、課題解決につながる提案を行う。

12月の研究大会において、来年行われる全事研本大会の発表概要を提案します。

(糸島市立波多江小学校 武原 寛)

## 第 16 回九州地区事務研究会役員研修会

標記の研修会が下記のように開催されました。概要をお知らせ致します。

期 日 平成 25 年 9 月 6 日（金）14 時から

参加者 沖縄県を除く九州各県の事務研究会役員  
及び全事研熊本大会実行委員  
(福岡県は川原会長以下 10 名)

場 所 熊本市「熊本県青年会館」

### 内 容

- 1 開会及び日程説明
- 2 開催県挨拶（熊本県：藤川会長）
- 3 地区委員長挨拶（鹿児島県：内田会長）
- 4 各県自己紹介



(議長 鹿児島県：内田会長)

### 5 議事（議長 鹿児島県：内田会長）

- ・各県の取組及び研究課題等、研究大会日程及び現状報告について
- ・当面する共通課題について
- ・九州地区内研究会の今後のあり方について
- ・第 47 回全事研大会（平成 27 年度熊本大会）について
- ・その他

最初に内田会長が、「来年度の大事な全事研熊本大会にむけてのいろいろな連絡事項や打合せ等がありますので各県の説明をたくさんして頂ききたいのですが時間を区切って紹介をしてほしい」と挨拶され、その後各県の役員の紹介がありました。

各県の取組み等の報告では、本県から川原会長・

野村副会長が福事研の取組み、福事研大会の内容、福岡県版グランドデザインである長期ビジョン検討委員会の取組状況などを説明しました。また、本県における政令都市の分割化の問題、地方公務員法の改正に伴う等級別基準職務表の問題についても問題提起がされました。

当面する共通課題では、

- ① コミュニティ・スクールの導入状況と学校事務職員の関わり
- ② 共同実施・事務センターの導入状況
- ③ 事務長制の導入状況
- ④ 学校事務職員に係る任用制度の在り方について各県から多くの意見が出されました。

九州地区内研究会の今後のあり方については、本年度から名称が「九州地区事務研究会役員研修会」に変更されました。今後、「全事研九州地区」名称の使用については、各県持ち帰って検討することになりました。

最後に第 47 回全事研熊本大会について、宮本熊本大会実行委員長より全体的概要について説明がありました。「分科会はあくまでも九州各県のご協力で成り立つものです。またそこが全国大会のメイン（命）になる部分であるものだと思います。九州各県の力強い発表をお待ちしています。」とお願いされました。



(全事研熊本大会福岡県打合せ)

今年は来年の全事研大会の打合せの関係から、午後 1 時 30 分からの研修会でしたが、時間が足りず、夜の懇親会でも、来年の全事研大会の発表についての話で盛り上がりました。



平成26年度(2014年度)役員・理事

役職名	氏名	所属	
会長	かわはら みちひさ 川原 通央	小郡市立 のぞみが丘小学校	
副会長 (研究部)	のむら あきつぐ 野村 明告	福岡市立 友泉中学校	
副会長 (研究部)	たけもと あつし 武本 篤	北九州市立 二島小学校	
副会長 (広報部)	へばる まさひろ 辺春 雅博	古賀市立 古賀北中学校	
副会長 (総務部)	きび まさひこ 吉備 昌彦	嘉麻市立 碓井中学校	
事務局長	はしもと つとむ 橋本 勉	田川市立 伊田中学校	
事務局次長	くぼ ひろし 久保 博	築上町立 八津田小学校	
事務局員	もり さとし 森 聡	北九州市立 高須小学校	
事務局員	いけだ かずひろ 池田 和広	北九州市立 西小倉小学校	
監事	よしだ なおこ 吉田 直子	中間市立 中間小学校	
監事	なかの みゆき 中野 三幸	大牟田市立 白川小学校	
監事	ふるかわ やすゆき 古川 泰之	糸島市立 前原中学校	
理事	福岡市 (研究部)	たかせ みや 高瀬 美弥	福岡市立 筑紫丘小学校
	北九州市 (総務部)	もり けんいち 森 賢一	北九州市立 千代中学校
	京築地区 (研究部)	ひがし ひろみ 東 宏美	豊前市立 黒土小学校
	北九州地区 (広報部)	なかお ひでき 中尾 英樹	鞍手町立 西川小学校
	筑豊地区 (広報部)	まつお たくじ 松尾 卓次	飯塚市立 蓮台寺小学校
	福岡地区 (研究部)	ひぐち たつや 樋口 竜也	糸島市立 二丈中学校
	北筑後地区 (広報部)	きたその ひろゆき 北園 弘行	うきは市立 小塩小学校
	南筑後地区 (総務部)	にしはら ちか 西原 千夏	みやま市立 清水小学校

平成26年度 年間事業スケジュール

月	活動項目	活動の細目
4	理事選出 理事会 4/19 幹事会 4/19	平成26年度(2014年度)総会の計画立案 平成25年度(2013年度)会計監査 平成26年度(2014年度)総会の計画審議
5	理事会 5/9  支部代表者会 5/22	総会の運営計画審議 平成25年度(2013年度)事業報告案審議 平成25年度(2013年度)決算案審議 平成26年度(2014年度)事業計画案審議 平成26年度(2014年度)予算案審議 平成26年度役員・理事の確認 総会議案提案 新採・未加入者の加入勧誘 総会・支部代議員の選出 全事研会報の配布 全事研調査の提案 会員名簿の作成 選考委員選出
6	総会 6/13 (支部研修担当者研修会)	総会開催(運営の課題等) 各部活動計画 会報の作成(総会) 会費納入依頼
8	全事研総会 8/5 全事研静岡大会 8/6~8/8 理事会	代議員総会参加 全事研大会参加 全事研大会報告 下半期の活動計画
9	九州地区事務連絡会 (熊本) 9/5	九州各県事務研究会の対応 全事研会報の配布
10	全事研調査 理事会  役員選考委員会	会報「福事研」(29号)の発行 第17回研究大会の計画立案 全事研調査の集約・報告 次年度役員選考
11	理事会 役員選考委員会	第17回研究大会の計画・業務分担審議 次年度役員選考
12	福事研第17回研究大会 12月12日	第17回研究大会の開催運営
1	役員選考委員会 理事会	平成27年度役員選考 全事研会報の配布 全事研セミナー参加者選定
2	理事会 全事研セミナー (川崎市)2月14日	平成26年度(2014年度)理事会のまとめ
3	支部代表者会(評議員会) 理事会	平成26年度(2014年度)引き継ぎ 会報「福事研」(30号)の発行 平成26年度(2014年度)の活動のまとめ 平成27年度(2015年度)計画の立案

○今年も12月12日(金)に第16回研究大会が開催されます。毎年、テーマ・フリーのプレゼンテーションが分科会に計画されていますが、個人研究や市町村の事務研等で研究、研修をされているものがありましたら、研究大会で発表してみませんか。

○三年後に政令市移管が行われます。福岡市、北九州市は、給与が県からでなく市からの支給となります。今後、変化について皆さまも考えていく必要があると思います。